



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年10月23日（木） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
保健医療課	健康推進室 がん・受動喫煙対策係	横山	内線 3300 直通 058-272-8172 FAX 058-278-2624

令和7年度がん対策推進功労者表彰（知事表彰）の表彰式を行います

県では毎年、がん対策において顕著な功績を挙げた個人又は団体を対象に、がん対策推進功労者表彰（知事表彰）を実施しています。

このたび、令和7年度の受賞者を決定し、下記のとおり表彰式を行いますのでお知らせします。

記

- 1 日 時 令和7年10月27日（月） 11時～11時30分
- 2 場 所 県議会棟1階 第1会議室②
- 3 受賞者 4名（別添のとおり）
- 4 贈呈者 健康福祉部長 なかにし ひろゆき 中西 浩之

【表彰の概要】

○目的

対がん活動において顕著な功績を挙げた個人又は団体をたたえ、他の模範とすることで、がん対策事業を推進する。

○基準

個人の場合20年以上、団体の場合15年以上、対がん活動を行っていること 等。

○実績

平成10年以降、昨年度までに個人65人を表彰している。

氏名ほか	渡邊 隆（わたなべ たかし） 診療放射線技師 61歳 居住地：岐阜市 現在の役職等：岐阜市民病院 副主幹
受賞理由	昭和60年4月より国立療養所長良病院に勤務し、翌年4月から39年間岐阜市民病院で放射線業務を通して、休日・夜間の救急医療の一員として従事し、疾病予防をはじめ市民の健康増進に尽力した。 平成17年から放射線治療を担当し、がん治療に従事してきた。特に平成22年10月には、放射線治療専門放射線技師の認定を、平成24年4月には、放射線治療品質管理士の認定を取得し、患者に対する安全な医療の提供並びに後進の育成に努めた。 平成18年から3年間、(社)岐阜県放射線治療技術研究会世話人として、放射線治療技術の向上並びに会員の指導・育成に尽力した。この3年間で代表世話人を平成19年度1年間務め、研究会をけん引した。 (社)岐阜県放射線技師会理事として2年間支部会員の学術向上並びに会の発展に尽力した。特に、放射線治療技術研究会を担当し、研究会の活動方針を明確に示すなど積極的に関わった。 昭和63年から岐阜医療技術短期大学（現、岐阜医療科学大学）の他名古屋大学、鈴鹿医療科学大学等の学生を臨床実習生として受け入れ、教育指導に努めている。
過去の表彰歴	平成26年 6月 (公社)岐阜県診療放射線技師会 地域功労 平成28年 6月 (公社)岐阜県診療放射線技師会 永年勤続30年表彰 平成28年 9月 (公社)日本診療放射線技師会 永年勤続30年表彰 令和 3年 2月 (一社)岐阜県病院協会 協会功労 令和 5年 9月 (公財)岐阜県教育文化財団 がん対策推進功労者

氏名ほか	萬屋 賢一（よろずや けんいち） 診療放射線技師 60歳 居住地：大垣市 現在の役職等：一般財団法人 岐阜健康管理センター 大垣健診部 部長補佐		
受賞理由	昭和61年5月、西濃運輸健康保険組合診療所に就職、その後、（一財）岐阜健康管理センターに転籍し、同センターの支社である大垣健診プラザに至る39年間、診療放射線技師としてバス健診や施設健診に従事し、胃がんや肺がんの早期発見に努め、予防事業に尽力した。 平成7年1月、上部消化管検査の撮影システムをX線フィルムのロール方式による直接撮影からデジタル撮影に変更した。この取組で胃がんの早期発見に大きく貢献した。 平成16年にも健診バスの設計を担当し、胸部撮影システムを間接撮影からデジタル撮影に変更した。また、腹部超音波検査装置も搭載し、健康管理に重視した健診バスに仕上げた。 平成26年部長に昇格した折、健診バスを間接撮影装置搭載車輛からデジタル装置搭載車輛に更新した。これはセンター初の試みであった。 令和4年11月、大垣健診プラザの完成により、この施設を地域の健康管理の拠点とするために、職員のスキルアップを目的とした社内教育に貢献した。 平成13年8月に胃がん検診専門技師の認定を取得し、高度な知識や消化管検査の技術レベルの維持向上に努め、受診者に安全で安心な医療を提供してきた。 平成13年4月から12年間に渡り岐阜県診療放射線技師会消化器画像研究会の世話人を務め、会員の資質向上や会の発展に尽力した。また同会西濃地域では、学術、総務及び監事を歴任し、地域会員の学術研鑽の機会の提供や会の運営に尽力し、その発展に貢献した。		
過去の表彰歴	平成19年 4月	（社）岐阜県放射線技師会	支部功労
	平成19年 4月	（社）大垣市医師会	公衆衛生功労
	平成22年10月	（財）岐阜県健康長寿財団	結核事業予防功労者
	平成25年10月	（公財）岐阜県教育文化財団	がん対策推進功労者
	平成28年 5月	（公社）岐阜県診療放射線技師会	永年勤続30年

氏名ほか	古川 晋司（ふるかわ しんじ） 診療放射線技師 60歳 居住地：関市 現在の役職等：社会医療法人厚生会中部国際医療センター 課長		
受賞理由	昭和62年3月、木澤病院(現、木沢記念病院)放射線科に勤務して以来、38年間診療放射線技師としてがん検診、住民健診はもとより救急医療などの業務により地域公衆衛生に尽力した。 平成5年1月ヘリカルCT装置の導入時、また平成11年12月に放射線治療装置(リニアック)の導入時に機種選定を中心的に参画した。さらには、これら装置を使ったがん治療検査業務に従事し、可茂地域を始め周辺地域住民の生活習慣病の予防、診療、治療に尽力している。 平成15年より他病院または近隣のクリニックの要望に応えるため、高額医療機器の共同利用に向けた準備を進める一方、診療放射線技師の立場からその医療機器の共同利用推進を目的とした渉外活動を6施設を対象に実施し、がん対策の一翼を担ってきた。 平成5年4月から平成14年3月まで中濃支部地区幹事、平成24年から2年間は(公社)岐阜県診療放射線技師会中濃地域理事として事業に参画し、地域住民並びに会員のために尽力した。 平成12年4月より岐阜県放射線治療技術研究会の世話人に就任し、平成25年3月までの間、会員の教育・育成に努めてきた。なお、平成21年4月から1年間は同研究会代表世話人として会の運営に尽力し、その発展に貢献した。 臨床実習指導教員として、名古屋大学、岐阜医療科学大学及び鈴鹿医療科学大学他の学生に実習指導及び教育を行ってきた。 令和6年3月陽子線治療導入に際し、装置の機種選定から参画。陽子線治療装置の立ち上げ業務にも大きく関わり、陽子線治療装置は予定通り稼働した。		
過去の表彰歴	平成14年 6月	(社)岐阜県放射線技師会	支部功労
	平成18年 2月	岐阜医療技術短期大学	臨床実習生教育功労
	平成26年12月	可茂地域公衆衛生協議会	公衆衛生事業功労
	平成30年 9月	(公財)岐阜県教育文化財団	がん対策推進功労者

氏名ほか	丹羽 文彦（にわ ふみひこ） 診療放射線技師 60歳 居住地：岐阜市 現在の役職等：大垣市民病院 医療技術部 次長		
受賞理由	昭和63年5月から大垣市民病院に勤務され、以来37年にわたり、診療放射線技師の業務を通じて地域のがん予防事業に貢献してきた。また勤務された各施設において医療画像の改善に努め、がん診断能向上を図った （公社）岐阜県診療放射線技師会の西濃地域世話人を3年間務め、西濃地域の研究会を通じ地域医療の向上や新しい技術の指導を行った。また現施設においては室長職として後進技師の指導や更なる医療画像の改善に努めている。 平成24年岐阜県放射線管理士部会世話人に就任（途中途中名称変更あり）以来13年間、会員に対して放射線安全管理教育を実施、平成30年より代表世話人に就任し、会員の資質向上・会の発展に尽力している。特に平成25年から始まった県下最大規模の岐阜県原子力防災訓練では、毎回同訓練に参画している。 平成2年より、岐阜医療技術短期大学（現、岐阜医療科学大学）、鈴鹿医療科学大学、藤田医科大学等の学生を臨床実習生として受け入れ、教育指導に努めている。		
過去の表彰歴	平成28年	3月	（一社）大垣市医師会 地域医療貢献
	平成28年	6月	（公社）岐阜県診療放射線技師会 地域功労
	平成30年	6月	（一社）岐阜県病院協会 優良永年勤続表彰
	平成31年	9月	（公社）日本診療放射線技師会 30年永年勤続
	令和2年	9月	（公財）岐阜県教育文化財団 がん対策推進功労者